

I まず私達を愛し、私達を創造し（命を与えられ）、救われ（罪の赦しと永遠の命を与えられ）神から与えられた私達の使命。先行する恵みを感謝しつつ使命として仕事をしたい。

1. 神の恵みに感謝し、神の救いの恵みを伝える世界宣教（海外や、家族、知人への伝道を含む）と主の教会を共に建て上げる。「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい」マルコ16：15。「キリストご自身が…ある人たちを牧師また教師としてお立てになりました。それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだ（教会）を建て上げるためです」エペソ4：11, 12。

2. 神の恵みに感謝し、神が創造された世界を神のみこころに添って管理する、世界管理という仕事。それが職業の意味、意義。神からの大切な使命としての仕事。人が罪を犯す前から神は人に仕事を与えられた。「神である主は人を連れて来て、エデンの園に置き、そこを耕させ、また守らせた」創世記2：15。神は適切な仕事を通して私達を成長させて下さる。職業には意味がある＝神が造られた世界の管理という大切な意義。

II 神からの大切な使命、世界管理としての仕事、職業の土台となる御言葉。「神は人をご自身のかたち（三位一体の神のご性質に似せて）として創造された。神のかたち（神のご性質、神と人と交わり協力して使命を果たす）として人を創造し、男と女（協力し合う存在）に彼らを創造された。神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。『生めよ。増えよ。地に満ちよ。地（神が造られたすべて）に従えよ。海の魚、空の鳥、地の上を這うすべての生物を支配せよ（神が造られた世界の管理をせよ）』創世記1：27, 28。親は、子どもに、祖父母の方々は、お孫さんに、聖書の素晴らしさを教えていただきたい。聖書には、勉強する事や職業の真の目的が記されていると。その答えが、創世記1：27, 28である。ダニエル書の7章には、歴史上、実在したバビロン、メディアとペルシヤの連合王国、ローマ帝国の事、終末の事等が明確に記されている。8章には、アレキサンダー大王、ギリシャの事も出て来る。旧約聖書をよく読む時、エジプト、アッシリヤ、バビロン、ペルシヤ、ギリシャ、ローマの歴史の流れもわかる。私は、個人的には、このように聖書から勉強、仕事の意味、意義、歴史を全能の神が支配し、動かしておられる事実を、小学生、中学生の頃に教えてくれる人がいたならと思う。私は、小学高学年の頃、真剣に勉強する意味、意義について深く考え悩んだ。もし、ただ良い成績を取るためだけの勉強ではなく、神が造られた天と地と神が世界の歴史を支配し動かしておられる事をよく知るための勉強と受け止めたなら、もっと意義深く学んだ事だろう。今の子ども達に、本日の説教が伝わる事を祈る！

1. 勉強をする意義＝神が造られた世界を正しく管理する為には、神が造られた世界の仕組みを知る必要がある。その為に、地理、理科、数学、科学、物理、医学等が役に立つ。学べば学ぶほど、この世界、生き物は、偶然や、進化の産物ではなく、ものすごく頭の良い方、全能の神が、精密に造られた事が分かる。学べば学ぶほど、宇宙、地球、太陽、人体の機能、秩序のすごさが分かり、神を賛美できる。子ども達に聖書から勉強の意味を教えたい！「聖書はすべて神の靈感（原語：神の息吹＝御聖霊）によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練との為に有益です」IIテモテ3：16。

2. 国語、英語、外国語を学ぶ意義→それは、色々な本、文献を読み学ぶ為に役に立ち、神が造られた世界の事、人間の事を深く知り続ける事が出来る。そして神を崇める。また、色々な言語を学ぶ事は、世界中の人々とのコミュニケーション、理解し合う事に役に立ち、色々な国の人々と協力して、神からの使命である世界管理（職業）をする事が出来る。神が与えられた芸術の賜物は、神が造られた自然の素晴らしさを描き神を讃え、音楽は、素晴らしい神を賛美する為に用いられる。疲れた人を癒すのに用いられる。

Ⅲ 神が造られた世界を管理する為に神が与えられる仕事、職業。

1. 女性を道具として扱う性産業や詐欺や薬物依存症にする反社会的な仕事以外の社会で認められている仕事はすべて、神からの召し、召命。一つ一つは、バラバラではなく、繋がっており、合い補い合いながら、神が造られた世界を管理している。I コリント7：17-24。

2. クリスマンにとり、救いは、神との交わりの回復だけではなく、働く事の意味の回復も含んでいる。それぞれの仕事に、神は、私達を召される。罪から救って下さるだけではなく、私達を信頼され、なすべき務めを与え、その仕事に召して下さる。しかも神は、突然に思いついて私達を召されるのではない。私達が生まれる前から、私たちの為に、なすべき務めを備えて下さり、私達の用意が整った時に召して下さる。「わたしは、あなたを胎内に形造る前からあなたを知り、あなたが母の胎を出る前からあなたを聖別し、国々への預言者と定めていた」(エレミヤ1：5)。神は、「ベツアルエルを名指して召し、彼に、知恵と英知と知識とあらゆる務めに置いて、神の霊を満たした」出エジプト31：2, 3。神は、私たち一人一人に違う能力を与え、時が来ると、その努めに召される。私達にはみな、それぞれの賜物、能力が神から与えられており、それを訓練する機会が与えられている。そして、それぞれの仕事の場に主が召されて置かれている。私達は、まず、自分の能力を発見し、教えられ、その能力を訓練して行く事が大切。いつか、それを用いる務めに召される。私達の準備が整った時、主を信頼して心の耳を澄ませるなら、主が備えておられる自分の務めが見えてくる。

3. 職業の選択。①神による志。ある人は、宣教師、牧師、伝道師に神が召される。ある人は、世にある職業に就き、神からの使命の世界管理と神の栄光を現わし、振る舞いで主を証しするように召される。②神が自分に与えられている能力、やりがいを感じる事は、神の御心の職業選択の判断に役に立つ。執筆、科学、建築・事務・機械・教える事・人との関わり、物作り、指導、助け手、福祉、医療、音楽、芸術、自然保護等。祈り求めよう。私はどのような仕事をすべきでしょうか？神は、導いて下さる。祈り、御言葉、環境、相談、助言、神の摂理、神はすべての事を用いて導かれる。③溢れる恵みを下さる神を礼拝する事を第一と出来る職業を選ぶ。日曜出勤の時は、早朝礼拝に参加。日曜の礼拝で霊的に強められる時、かえって6日間の仕事も守られる。「安息日(神を覚え礼拝する日)を覚えて、これを聖なるもの(優先し取り分ける、確保する)とせよ。六日間働いて、あなたのすべての仕事をせよ。七日目は、あなたの神、主の安息(主に感謝し礼拝し、主から霊的な力を得る)である」出20：8-10。④主婦の仕事も大切な世界管理。⑤寝たきりになっても、価値のない存在ではない。神の目に尊い存在。イザヤ43：4。病院や施設にお世話になる時、そこに費用を払う事で、その経済を助けている。

Ⅲ 仕事をする態度と雇い主の心。エペソ6：5-9。当時は、まだ奴隷制度があった。この箇所を現代の私達が読む時、雇う側と雇われて働く人々の心の態度に適用できる。その為に本日の聖書の箇所がある。

1. 神から与えられた職場で仕事をする態度、心=「キリストに従うように、恐れおののいて真心から地上の主人に従いなさい。ご機嫌取りのような、うわべだけの仕方ではなく、キリストのしもべ(主の証し人)として心から神のみこころを行い(不正に加担せず)、人にではなく主に仕えるように、喜んで仕えなさい。奴隷であっても自由人であっても、良いことを行えば、それぞれが主からその報いを受けること(主はすべての心と行いを見ておられ報いて下さる)を、あなたがたは知っています」エペソ6：5-8。

2. 人を雇う側の心=「主人たちよ。あなたがたも奴隷(今日的適用：社員、雇われる人)に対して同じようにしなさい。脅すことはやめなさい。あなたがたは、彼らの主、またあなたがたの主が天におられ、主は人を差別なさらぬことを知っているのです」6：9。会社の責任者も、社員から不正を指摘された時、主を恐れ敬い、改善して行く。主は、地位や職業で人を差別なさらぬ。仕事を神からの使命と自覚し世界管理が出来ますように！コロナ禍の中でも仕事を与えられますように。